

平成18年度「専修学校を活用した職業意識の啓発推進」成果報告書

事業名	「職業教育の日」記念事業NIIGATA JOB WORLD 2006 「記念シンポジウム」		
法人名	社団法人 新潟県専修学校各種学校協会		
学校名			
代表者	会長 渡辺 敏彦	担当者 連絡先	国際トータルファッション専門学校 石崎 伸一 (025-226-6601)
<p>1. 事業の概要</p> <p>NIIGATA JOB WORLD 2006は、高校生・中学生、若い人たちが早い時期から職業に親しみ、自らの職業生活を設計し、将来にわたって充実した職業生活を過ごすことができるよう、教育の観点からその意味を共有し、伝え、そして高校生・中学生等が、さまざまな職業につく意識を持つ機会とする。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>「記念シンポジウム」は、当日の来場者を含めて、県民への職業意識の啓蒙および、専門学校が果たす職業教育への取り組みを知ってもらう為に、講演会及びパネルディスカッションの内容を「新聞紙上」にて県民に報告し、産・官・学の立場からのアドバイスを通して、職業教育の重要性と職業に対する意識を専門学校生・高校生・中学生及びその学校教師及び保護者に持ってもらうことができた。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>記念シンポジウム 【講演会及びパネルディスカッション】 実施日及び実施場所 日時:平成18年7月14日(金)14:30～16:30 (入場無料)</p> <p>③今後の活用</p> <p>定職に就かない若者が増える現在、本事業において「職業」や「仕事」について考えてもらう場でもある。高校や専門学校また大学を卒業し、好きでない仕事には就かないのではなく、仕事を好きになる考えを持ってもらいたい。今後も若者を対象に、職業に対する意識の向上を図る為にも、この記念シンポジウムの成果を多くの県民に伝えて行きたい。</p> <p>④次年度以降における課題・展開</p> <p>講演会及びパネルディスカッションを新聞紙上のみでなく、活字離れをしている幅広い若者にも観て考えてもらえるようにインターネット上での公開やDVDでの配布をも考え、自己満足で終わらないように、ステップアップを考えている。また、新潟県民以外にも、本事業の成果をPRして行きたい。</p>			

3. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座、講演会の実施

記念シンポジウム

日時:平成18年7月14日(金)14:30~16:30(入場無料)

会場:ホテルイタリア軒(3階サンマルコ)

【記念講演】

演題「下流に落ちるか？働くか？」三浦 展(みうら あつし)氏

【パネルディスカッション】

テーマ「今、働くことを考える、学校から始まるしごと観」

- ・目が覚めました！有難うございました。まずはアルバイトから始めます。仕事をしていないと感覚が麻痺します。今日はこれで良かったです。
- ・働くこと、好きなこと、頑張ることは違うことなんだと実感しました。就職に対しての考えが少し楽になりました。
- ・自分の中にある、まだ知らない可能性を引き出す為にも、嫌いなことにも率先して挑戦して行こうと思えるようになりました。

②その他

パネルディスカッションや講演会では限られた人数への話になるため、会場を新聞紙上に変えて、新潟県内では購読者が一番多い、新潟日報紙上にて今回の講演及びパネルディスカッション「職業教育の重要性」を新潟県民に進学や職業についてのアピールをおこなった。また、この事業を多くの人の目に触れさせる為に、新潟日報社社告に事前告知を行ない、講演者の三浦 展氏から「NIIGATA JOB WORLD2006」に向けてのメッセージを掲載し告知をした。そして、ご多忙の中、本事業にご理解を賜り、泉田新潟県知事にもパネリストとして参加していただいた。